

会 議 録

会議の名称	令和6年 第9回 白岡市教育委員会定例会	
開催日	令和6年7月11日（木）	
開催時間	午前9時00分 開会 ・ 午前11時37分 閉会	
開催場所	白岡市生涯学習センター〔こもれびの森〕会議室1～3	
教育長の氏名	横 松 伸 二	
出席者（委員等）の氏名	横 松 伸 二 山 崎 美佐江 和 田 玲 子	小野目 如 快 福 永 肇
欠席者（委員）の氏名		
説明員の職・氏名	教育部長 教育総務課長 参事兼教育指導課長 生涯学習課長 指導担当主任指導主事	長 谷 川 亘 高 垣 秀 樹 蓮 見 宣 宏 小 船 伊 純 安 達 季 秋
事務局職員の職・氏名	教育総務課主幹	神 田 晶 子
点検評価員	吉 野 高 男	
会議次第	1 開会 2 日程第1 会議録署名委員の指名 3 日程第2 委任事務等報告事項 第1 区域外就学について 第2 令和6年度就学援助の認定について 第3 白岡市就学支援委員会の委嘱について 第4 令和6年度白岡市学校給食委員会委員名簿の訂正について 第5 専決処分の報告について（人事案件） 4 日程第3 議案第15号 令和7年度使用中学校における教科用図書の推薦について 5 日程第4 その他の事項 6月の教育委員会諸事業結果報告について 6 閉会	

配布資料	別添のとおり
傍聴者数	2人

1 開 会

横松教育長 出席委員5名、定足数に達しており開会を宣言した。

2 会議録署名委員の指名

横松教育長 市教育委員会会議規則第15条の規定により、山崎委員及び福永委員を指名した。

3 委任事務等報告事項（教育長報告）

横松教育長 委任事務等報告事項のうち、報告事項1、2及び報告第5は個人情報を含むため、また日程第3の議案第15号令和7年度使用中学校における教科用図書のおすすめについては、議案の説明及び意見交換を公開とし、白岡市教育委員会の採択案の決定については、白岡市情報公開条例第6条第4号に規定する意思決定過程に関する情報のため、非公開で行いたいが如何か。

委 員 (異議なし)

横松教育長 異議なしと認め、ここで審議の順番を変えて公開案件からとする。

なお、一部非公開の議案第15号については、議案の説明及び意見交換後に傍聴人の退席をお願いすることとなるため、日程第4その他の事項、その他6月の教育委員会諸事業結果報告についての後に審議を行う。

第3 白岡市就学支援委員会の委嘱について

【説 明】 (報告第3について、教育部長が概要を説明し、参事兼教育指導課長が資料に基づき説明した。)

【質疑応答概要】

A委員 医師会から選出とあるが、市内の医師会か。
参事兼教育指導課長 そのとおりである。

【承 認】 (質疑応答後、全員異議なく承認)

第4 令和6年度白岡市学校給食委員会委員名簿の訂正について

【説明】 (報告第4について、教育部長が概要を説明し、教育総務課長が資料に基づき説明した。)

【質疑応答概要】 (質疑なし)

【承認】 (全員異議なく承認)

4 その他の事項 6月の教育委員会諸事業結果報告について

【説明】 (生涯学習課長が資料に基づき説明した。)

【質疑応答概要】

B委員 安楽寺で行った文化財の一般公開の参加者はどのような方だったか。

生涯学習課長 参加者の年齢層は50代から70代が多かったように思う。お砂踏みがあり、各回、子供連れも参加していたように思う。

B委員 参加した人に歴史的背景などを話していただけると良いと思った。

ハンズ・オン・デイの七夕で、マコモの馬はどなたが作ったものか、またその由来などを伝える方がいるのか伺いたい。というのも、自分が子育てしている時は、地域の方がマコモの馬の作り方を教えてくれた。地域に根付いた文化なので、作ったものを飾るだけでなく、由来などを伝えたら良いと思った。

生涯学習課長 白岡市をはじめ、埼玉県の低地で、馬の形をした七夕のお願い事として飾っている。マコモについては、市内の方が提供してくれたと聞いている。季節行事を大切に、受け継いでいくことを大事にして事業に取り入れるよう、ご意見を参考としたい。

B委員 人権教育推進協議会の研修会に参加した。画面を見ながら手話をしていた。字幕はあったが、映像に手話通訳者の画面を組み込んでいただくことはできないか。企画自体は良いと思うが、映像を見ている方が手話を見る機会となるのではないかと考えて見ている。

生涯学習課長 人権教育推進協議会の研修会用DVDには、数が少ないが手話通訳が組み込まれているものもある。講演を聞く時は手話が優先するし、何かを発信する際は手話が大事だと思う。

聴覚障害者はDVDの映像を見るときは字幕が有効だ

と思うので、今後はDVDの選定の際に参考としたい。

A委員

安楽寺の参加者は意外と多いと思った。どのように周知したのか。

生涯学習課長

広報5月号、HPや安楽寺が作成したポスターで周知した。

A委員

太田新井からの参加者が多かったのか。

生涯学習課長

近所の方は多かったが、市内外から来ていた。点検評価委員でもある板垣氏が仏像について解説した。来ていた方は、皆、真剣に聞いており、写真撮影をしている方もいた。

A委員

ハンズ・オン・デイの参加者が多いと思う。土曜日に図書館をどのくらいの人が利用しているのか。

生涯学習課長

細かい数字は後ほど回答したい。

⇒図書館の休日の利用者は、1,200人から1,300人、平日の利用者は700人から800人である。

A委員

菁莪小学校と大山小学校で2回目の放課後子ども教室が行われたが、残り4つの小学校での実施はあるか。

生涯学習課長

今年度については、9月から白岡東小学校でも実施するので3校となる。

A委員

スタッフはどういう方が行っているのか。

生涯学習課長

各校のコーディネーターが責任を持って行っている。それに加え、スタッフと、毎回、生涯学習課の職員が1、2名出席している。

【承認】

(質疑応答後、全員異議なく承認)

4 議事

【上程】

横松教育長

議案第15号 令和7年度使用中学校における教科用図書のおすすめについて上程し、提案理由の説明を求める。

【説明】

(議案第15号について、教育部長が概要説明を行い、参事兼教育指導課長が資料に基づき説明した。)

【質疑応答概要】

C委員

(はじめに、各委員の意見・感想を伺った。)

全体的に端末を使用する授業が多いと感じた。各テキストとウェブとの連携を気にしながら読んだ。

国語は朗読が入っている。普通はプロが読むことが多いが、古典は読み方が独特であり、踏み込んで作ってい

ると感じた。作者へのインタビューも、出版社の努力と取れた。

技術は、どの会社もアニメなどの動画で見せており面白く、動画に手間暇かけていると感じた。プログラミングまで踏み込んでいるものもあった。各社の努力を感じた。

数学もどこの会社でもウェブで出しているが、出版社により違いがあった。水の変化などを動画で作っているところがあった。NHKの教材リンクにリンクさせているものも多かった。

B 委員

全体的に見やすく、良くできていると思った。多角的に見られるように作っているように感じた。話あって結論に至れるような作りになっていると感じた。

国語では、取り上げている教材が新しくなった気がしている。

書写ではQRコードを読み込むと、書き方が分かるようになってきている。筆遣いのニュアンスはわかるが、実際には筆遣いの重量感など、ウェブだけではわからない部分もあると思う。ポスターの文字やサインなど、人が書く感じをつかんでほしいのが見えた。

器楽では、合奏を多く取り入れているイメージがあったが、和楽器の説明が詳しくされていた。その他、日本の伝統的な楽器と今の楽器のアンサンブルなど、興味深い内容が多いと思った。

音楽は、古くから歌い継がれてきた歌が少なめだと感じた。合唱曲やリズム感のある歌が多く、時代の流れを感じた。

家庭科では、子育てや消費社会など色々な角度から様々なことをわかりやすく学ぶものとなっていた。

英語もわかりやすかった。会話重視であると感じた。会話から発展させて身に付けていくのかと思う。ニュースの記事も、最近の記事が出ていてタイムリーで良いと思った。

日常生活で色々なことに興味を持ち、知識として身に付けていくようになっていたし、バリアフリーとか、気づく癖を身に付けるのが良いと思った。

D 委員

国語では、良い文章と付随するコラムなど、作者の思いや社会的背景などがあり、作品を味わうのに様々な情報を盛り込んであり、味付け方が違うと思った。話し合いやディベートなど、相手を尊重しながらどのように自分の意見を出していくのかについて、各所に話し合いとして挟まれていて、今の教育目標の一つと感じた。

理科は、科学者が発見したことが載っているが、コラムが脇にあり、どのようにして発見に至ったかなどの背景が書かれていて興味深かった。知識だけ与えられるのではなく、背景などがあり面白いと思った。また、先に何を学ぶか書かれていてわかりやすい。どのように進むか、教科書に載らないものはデジタルコンテンツへの誘導があり、また確実なもの、不確定なもの書き方や言葉の使い方が分かりやすく、不確定な部分の本文やコラムが面白いと思った。

家庭科は、中学の義務教育が終わったら社会に出る子もいるので、自立できる最低限の知識が組み込まれていて、家庭科の意義、存在があるものだった。また、税金、義務、手続きなどが掲載され、分かりやすかった。

道徳は、本を絞って読ませてもらったが、日本で当たり前に思っていた常識、例えば列に並ぶのが常識であると思うが、具合が悪い人がいたらどうするかなど、どのように道徳感が定まるかを学ぶのが必要だと思う。

A 委員

50年ぶりに教科書を見たが、まず、教科書が重いと思った。8冊持って5kgとなるなど、他にも部活の道具や辞書などを持っていくことを考えたら重いと思った。

また、興味を持たせる、考えさせるなど、主体的な生徒にさせようとしているが、昔と違い、覚えさせることは少ないと思った。バッハもヘンデルも出てこない。美術にしても、モネなどが出てきていない。世界のインテリレベルに達しないのではないかと危惧する。

国語の書写、公民、保健体育、技術、道徳は、教科書を初めて見た。毛筆に時間をかけるのは意外であった。ポスターの書き方、文字の歴史など、子供たちは縦書きに慣れていないからなのかもしれないが、硬筆の方が必要なのではないかと思った。

同様に英語もスペルがなかった。

社会の教科書は、何を勉強するのが分からないのが大半であった。絵や写真、漫画が多かったように感じた。指導する先生が大変なのではないか。文字の比率が減っている。文字から得る知識も大事だと思う。

一方で、数学が嫌いな子でもわかりやすいように、色々なレベルの子に授業を行うのに、バリエーションがあるように感じた。

音楽には、器楽、和楽器が出ていた。

美術はデザイン系が多かったように思う。

保健体育では医学的なことが書いてあった。

技術は木工だけでなく、電気、電化製品のことなど、幅広くなっていた。

英語の教科書には辞書が付いており、辞典を使わない時代となっている。読解力について学ぶような文章が少ないと思った。

全体的に、かなり教え方が変わってきている。何をどのように考えるかを学んでいくので、知識に対する点数が取れないのではないか。点を取るのは塾なのかと思った。

横松教育長

昨年選定した小学校の教科書では、基準、基礎を教えるものであった。

中学校用のものは見ていて面白いと思った。どこに興味持つかを誘導してくれるようなものであった。中学校では、高校、大学、社会人を構成する基礎となるものである。私は社会が専門であり、教えやすい教科書があったと思った。

B 委員

英語では、SNSで使われる略語表現を説明しているページがあって面白いと思った。日本のラインでも絵文字やWW等を使うことがあるが、英語でもカジュアルな略語が日々生まれているのは興味深かった。

英語を学ぶ中学生にとっても、興味が広がるきっかけになると思った。

今は、動画やテレビなど、画像から知識を得たり、感じたり、耳で聴いて覚えたりする機会が多いと思う。新しい知識を得る時、文字や文章からだけでなく、様々な

方法で学び取るのも大切だと思う。

例えば音楽で1つの歌を歌えるようになる時、始めにメロディーを聴いてイメージをつかんでから歌うと、音符を読んでから歌うよりも体に入りやすいと思う。

学ぶ楽しさを知るきっかけは、教科書を見た時、きれい、楽しそう、面白そうといった前向きな感覚から生まれると思う。まずは感じる事が大切だと思う。

公民には能登の農泊が書いてあった。調べたら、今は農泊ができていないようなので、注釈を付けて教えてもらうのが良い。また、白岡市の職員の、能登での実体験を織り込んで災害に対する緊迫感も教えていただきたい。訴えかけても良いと思う。公民には議会のことも出ているので、子供たちが議会中に議会の傍聴できないものかと考えながら読んでいた。

A 委員

勉強させよう、力を付けさせようとする教科書だが、教える方では、何をポイントに教えたらよいのか、どこを押さえてほしいのかがわからない。

過渡期なのかもしれないが、最低限の知恵、知識として何を学ぶのかがぼやけてしまっている気がするので、不安である。新しいことを取り入れていて驚いた。

(以降は、意思決定過程及び個人情報を含む案件のため、傍聴人退席)

※休憩後、10時30分再開

参事兼教育指導課長

当日配付資料の補足説明をする。

白岡市教育委員会としての案を決めていただくことになるが、教科用図書を選定については、第23地区の各市町教育委員会で投票を行い、過半数の票を得たものを選定することになる。過半数を得たものがない場合は次点と考える教科用図書に投票を行い、第1回目の投票結果に加算して多数の表を得た教科用図書を選定することとなる。

このため、各市町教育委員会においては、教科ごとに第一候補、次点となるものを決定して持っていくことになる。

採択案の1枚目、2枚目は、市内各中学校から上がっ

てきた調査研究報告を基に得点化して、得点が高いものを第1候補、次点候補とした一覧である。

資料3枚目は、調査研究した結果を事務局として送っているものである。

4枚目以降は、各学校の調査研究した内容を簡単にまとめた一覧となっている。

推薦校が第1候補とした場合は1ポイント、第2候補とした場合は0.5ポイントとし計算し、理由をまとめた。これを、各教科、教科書会社ごとに集計して、学校からの調査研究報告を基に1枚目の第1候補としたものである。

技術については、2.5ポイントずつの同点となったが、生徒数の多い学校を第1候補とさせていただいた。空欄になっていたところもあったが、点数を入れても同数だったので、そのように判断させていただいた。

これらを参考にし、白岡市教育委員会としてどの教科用図書を第1候補とするか検討いただきたい。

A 委員

たくさん会社があっても選べるのは第1、2候補のみか。地図は2つの会社しかなく、どちらかが1で、もう1つが2の場合も、学校で1.5ポイントを持っているという理解か。

参事兼教育指導課長
横松教育長

そうである。

実際に4市町から第1候補を出して決まればそれで終わる。第1候補だけ出して2と2で同点だった場合は第2候補を出してもらい、あわせた点数が多い方に決まる。それでもなお決まらない場合は市町の生徒数が多いところを優先していくこととなる。去年は第2候補まで行った教科書が1教科あった。

白岡市としてはこのように出したいと思っているが、御意見はあるか。

A 委員

学校からの意見に対し、教育委員としての意見はどのように出すのか。

横松教育長

例えば、学校としての意見はこうだが、私はこう思うと意見を言っていただき、教育委員で決めていくという手順となる。教員の意見は参考とするが、教育委員が決めることになっているので、白岡市としての第一候補が

変わる場合もある。

委員の中で、順位をつけてもらっていると思うので、採択通りなら意見は不要だが、それ以外の意見を聞きたい。また、第1どおりが良いがこういう意見があったと表明できるので、意見があれば言っていたきたい。

B 委員

小学校と中学校で違う会社が推薦されているが、何か意図があるのか。

参事兼教育指導課長

意図があって分けている訳ではない。小・中同じ会社を作ることによる接続のメリットはあると思うが、小学校の教科書を選ぶ時は小学校の採択会議で、その時の調査研究報告などにより決めている。

例えば、中学の技術分野と家庭分野で違う会社だったので前回話題とはなったが、その時は内容が良いので違う会社となった。すべての採択地区を調べている訳ではないが、小・中で、同じ教科でも別の教科書を採択していることはあり得る。

横松教育長

小学校で教えることや中学校で教えることはそれぞれ学習指導要領で決まっている。例えば、中学1年と2年で教科書を変えるのは問題があるが、小学校と中学校で教科書が違って、小学校の6年までに教えなければいけないことは学習指導要領で決まっているため、どの教科書を使用しても、皆同じ知識を持っているものと考えられる。

B 委員

運び方の癖のようなものがあると思うので、教科書が変わると癖も変わってしまうことを心配する。

横松教育長

癖を把握しているので、その教科書であっても大丈夫であるとして決定している。

D 委員

道徳を読み込んだ。どの教科書の作り方が個性的で、1つを読むとその個性に染まり、全社を読むのは難しかったので、昨年度まで使用していた教科書を中心に読んだ。

第1希望がきれいに分かれていたので、学習指導要領に定められているとはいえ、最初に手に取った教科書に左右されていると思うくらい、各社の個性が際立っていた。教える先生の好みや教えやすさがあるのだろうと思った。

道徳を教える技術が必要だと思う。第1希望が分かったが、昨年度まで使用していた教科書についてはこれまでの授業実績の蓄積があるので、第2希望に挙がっているのは納得できる。

道徳専門の先生がいない中で、どの先生も手探りの中やっていて過渡期だと感じた。分かれていることが言いたいのではなく、先生の手腕が上げれば良いと思った。

A 委員

社会科の歴史、地理、公民、地図について、圧倒的に1社が選ばれていて、地図だけ2社のうちもう1社が選ばれていた。選んだ地図は市販のものより詳しく、地図だけでなく展開があり、先生たちが選んだ意見に同意する。

歴史については、会社ごとにレイアウトが違っていた。ここにはない会社の教科書が、どのページのレイアウトも同じようにできていて、ページの構成、内容が章ごとに分かれており、家で勉強しやすく良いと思った。

公民について、第1候補は、先生が使いやすいのかと思うが、別の会社の方がページのレイアウトが良く、統制力があり、個人的には生徒が家で捉えやすく理解しやすいのではないかと思った。

横松教育長

確認だが、反対意見ではなく、こういう意見があったとするのか。

A 委員

個人的な意見である。

横松教育長

歴史を教科として教える時には、平等に平均的に教えることは必要である。

A 委員

これらは、検定は通っているものか。国定教科書なのか。

横松教育長

これらは検定済みの教科書である。明らかな間違いや、学習指導要領に書いてあることを書いてないものについて、修正意見を出し、修正したものを検定済みと認め、修正しない物を落とすことになる。国定の教科書はない。

C 委員

技術については、同点だが、自分も関わっているので内容を見たが、ネットワークについて記載が少ないのではないかと思った。ランサムウェアなども書いてあり別の教科書の方が個人的には良いと思った。

【採 決】

(質疑応答後、全員意義なく決定)

横松教育長

議案第15号 令和7年度使用中学校における教科用図書
の推薦については原案のとおり、白岡市教育委員会の採択案として決定し、第23区採択地区教科用図書採択協議会に提出することとする。

この採択協議会での採択決定の結果については、改めて教育委員会に上程することとする。

3 委任事務等報告事項（教育長報告）

第1 区域外就学について

【説明】（報告第1について、教育部長が概要を説明し、参事兼教育指導課長が資料に基づき説明した。）

【質疑応答概要】 ～非公開案件につき内容省略～

【承認】（質疑応答後、全員異議なく承認）

第2 令和6年度就学援助の認定について

【説明】（報告第2について、教育部長が概要を説明し、参事兼教育指導課長が資料に基づき説明した。）

【質疑応答概要】 ～非公開案件につき内容省略～

【承認】（質疑応答後、全員異議なく承認）

第5 専決処分の報告について（人事案件）

【説明】（報告第5について、教育部長が概要を説明し、生涯学習課長が資料に基づき説明した。）

【質疑応答概要】 ～非公開案件につき内容省略～

【承認】（質疑応答後、全員異議なく承認）

5 閉会

横松教育長

以上をもって閉会を宣言する。

議事の内容・概要を記載し、その相違なきを証するため、ここに署名する。

令和 年 月 日

教 育 長

議事録署名委員

議事録署名委員